



萱瀬中だより

校訓：自主 創造 健康

大村市立萱瀬中学校

令和7年10月16日発行

文責：校長 西野 理英



実りの秋 萱中の伝統行事「稲刈り」実施



10月というのにまだまだ気温が30℃を超える暑さの中、事前に動画等で学習し、PTA 環境整備部の保護者の皆様にご指導いただきながら今年も無事にうるち米の収穫を終えました。刈り残した稲穂や、麻ひもでくる時に落とした稲穂も、一粒も無駄にしないようにと大切に収穫しました。このあと脱穀等もありますが、販売できるよう準備を進めていきたいと思います。

また、これまで夏の暑い日も実習田を見守り、当日も子どもたちのために午前中から準備をしてくださった環境整備部の保



護者の皆様、PTA OB の山口様、久富 PTA 会長様、見学に来てくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



★☆☆10月2日(木) みんなの思いをたすきでつなぐ★☆☆ 大村市中総体駅伝競走大会開催 女子「躍進賞」!!



場所：トランスコスモススタジアム長崎及びジョギングコース（南島原市、雲仙市と共催）



2年生の修学旅行など、大きな行事のあとで、コンディションが心配されましたが、22名全員で大会に臨むことができました。夏休みから、あの猛暑にも負けず、目標を定め、心を一つに練習してきました。選手はもちろん、それをサポートするメンバーも精一杯支えてくれました。そのおかげで、女子は昨年度の記録を上回る結

果で「躍進賞」を受賞。萱瀬中男女駅伝チーム、これまでよく頑張りました！日々、指導してくださるコーチ、先生方、応援して下さる保護者の皆様への感謝の気持ち、仲間との絆を大切にしながら、次年度に向けて更なる飛躍を期待しています。

令和7年度 大村市イングリッシュスピーチコンテスト開催 3年 太田一颯さん 最優秀賞 大村市代表として県大会へ



本校からは、3年生の太田一颯さん、田下寛大さんの2名が出場しました。本コンテストは、「私のふるさと」を題材として、自分が考えたことや、伝えたいことを2分30秒以内で発表することになっています。田下寛大さんは、「Historical town, Nagasaki」というタイトルで、長崎にも関係

の深い「坂本龍馬」や「亀山社中」のエピソードを交えながら大好きな歴史について発表しました。太田一颯さんは、「Heroes are hope」というタイトルで、萱瀬ではすっかり有名な「カヤゼット」としての活動についてそれぞれ発表しました。私は見に行けなかったのですが、出席されていた先生方から2人の発表についてすばらしかったという感想をいただきました。結果、太田一颯さんが「最優秀賞」を受賞。12月に開催される長崎県イングリッシュスピーチコンテストに大村市の代表として出場することになりました。県大会も頑張ってください！

気付いていますか？ 『ストップマーク』



以前から、カーブミラー設置の要望が出されていた実習田前の横断歩道。9月に関係機関と通学路の合同点検を実施後、市の安全対策課によって10月14日に「県交通安全母の会連合会」で作成された「ストップマーク」が貼付されました。

このマークは、歩行者にとって、交通安全上注意を要する箇所等に貼られます。生徒の皆さんも、このマークより前方は、車道と近く、大型車等もスピードを出して走行しているときがあり、大変危険です。信号待ちをするときは十分注意をしてください。あわせて、最近では「秋の日はつるべ落とし」と言って、日が暮れるのがずいぶん早くなりました。部活動が終わったら速やかに下校するようにしてください。

萱瀬中学校区 PTA 三校教育講演会が開催されました

今回は、能登半島地震復興のために「TEAM・JAPAN」を立ち上げられた「NPO 法人 MAKE HAPPY」の谷口 保様、加藤やわら様、濱口美穂様を講師にお迎えしての講演会でした。PTA 会員研修部の保護者様、講師の依頼や準備、運営等ありがとうございました。また、ご参加くださった保護者の皆様、ありがとうございました。